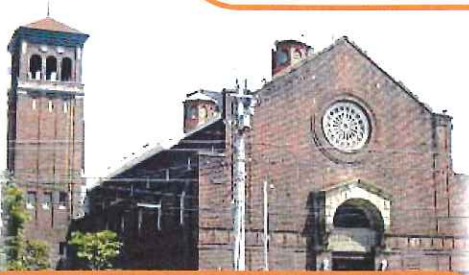


西区を歩けば大阪の1ページが見える (西区散策ウォーク)

2016.4.30



朝からさわやかな風、日差しの中を大阪 YMCA 土佐堀会館の西区周辺を今回歩きました。かつてこの周辺は、豊臣秀吉時代に大阪城築城の折に豊臣秀吉の命によって、様々な人達が地方から移り住み当時の町並みを作りました。江戸堀・京町堀・土佐堀・阿波座・薩摩堀・立売堀と地名にもなっています。そして、なんと大阪城築城に登場する「砂場・そば」の発祥地でもあったのです。今回は、江戸幕末から明治時代の旧跡・史跡も数多く残っているところを探索しながら歩きました。



土佐堀 YMCA のすぐ近くにある大阪教会で「広岡 浅子」が洗礼を受けました。教会は「浅子」と縁があるヴォーリスの設計です。



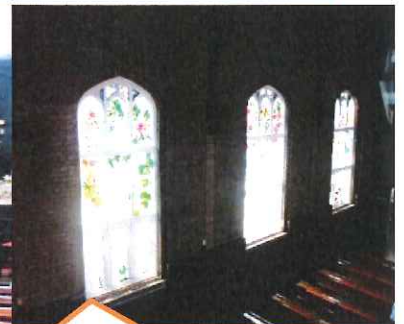
旧川口居留地に建つ川口教会。明治初期、この居留地に大勢の外国人が生活をしていました。また当時では、日本でも珍しい、精肉店・理髪店・中華料理店と有り、日が暮れても明かりが夜通しこうこうと点灯していたようです。



「江戸堀尋常小学校の碑」現在は花乃井中学校となっています。



教会の成り立ちや当時の状況を説明して頂きました。



綺麗なステンドグラス



堀江新地開拓の折「阿弥陀如来」像が「和光寺」境内の池から出現したことから阿弥陀池と地名にもなっています。



三菱ゆかりの「土佐稲荷神社」社殿には三菱のマークが施されています。

皆様、ご参加ありがとうございました。
大阪 YMCA エイジングセンター